

代表機関：国立大学法人東北大学（菅野 恵美）

課題名：難治性創傷の治癒期間を短縮する ナノ型乳酸菌を含有した創傷被覆材の創出

分担機関：ニチバン株式会社、有限会社バイオ研

研究期間：令和6年5月～令和9年3月

研究目的・内容

- 本研究開発は、東北大学、ニチバン(株)、(有)バイオ研の連携を通じて、創傷部位の治癒環境を最適化し治癒期間を短縮することで、難治性創傷に至る症例を減少させることが可能な「ナノ型乳酸菌（加熱死菌）を含有した創傷被覆材」を開発する。

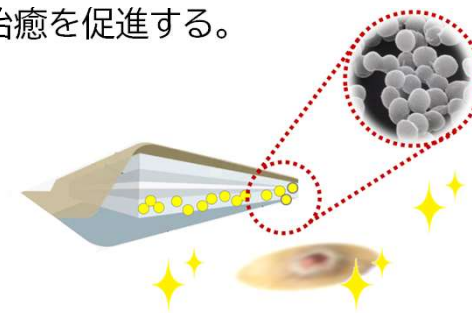
今後の展開

- 開発品の有効性に関するメカニズム検証
- 医療機関のみならず、創傷の専門家がない在宅や介護施設等においても使用できる製品となるよう、安全性を含めた検討（ニーズ・リスク分析）
- 創部の治癒環境を最適化する機能を有する仕様の確立

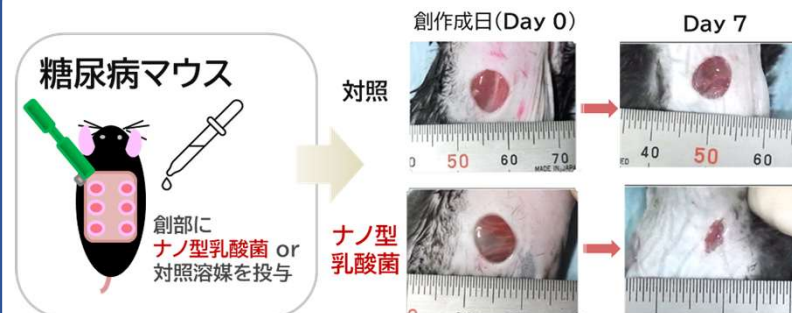
クラス分類：検討中

開発品の概要

- 被覆材によるのMoist Wound Healingを主効果とし、乳酸菌が補助的に作用することで、創傷治癒を促進する。



効果



治り難い創傷(キズ)の治癒を促進

Tanno H, Kanno E, et al. Biomedicines, 2021.